

【どの子ども大事】～居場所・かわり・感動体験～ 学校だより



# ポップラ

令和2年度

第3号

令和2年

6月25日発行

東大和市立

第四中学校

全員揃っての新たなスタート

校長 住吉 豊

いよいよ 22 日から、全校生徒揃っての学校生活がスタートしました。校庭での全校朝礼を計画し、久しぶりの顔合わせを期待していたのですが、月曜日はあいにくの雨で放送朝礼になってしまいました。ですが、朝登校した生徒の楽しそうな声が廊下に聞こえ、ちょっとわくわくしているのかなと感じました。

これからの生活は「ウィズコロナ」と言われるように、しばらくこのウィルスと私たちは付き合っていかなければならないようです。人混みを避ける。マスクを付けて、手洗いうがいをこまめに行う。等の取組をこれからも続けて行かなければなりません。当たり前と思っていた事が当たり前では無い事に気がついたこの数ヶ月でしたが、早く以前のような生活ができることを願って、もうしばらくは忍耐強く皆で協力する事が求められます。学習に部活動に行事にと、様々な面で皆さんと協力してコロナに打ち勝っていきたいと思います。

さて、この4月5月の家庭学習期間に、3年生に平和学習の課題として出した生徒作文を紹介したいと思います。少し説明させていただくと、この平和学習の取組では、2年生で東京の戦争の史跡などについて班で調べ、実際に訪れたりしました。そして修学旅行では広島を訪問し、平和資料館などを見学したり、被爆者の方が伝えるお話を聞いたりする予定です。広島は京都・奈良へ行くよりも、もう少し時間がかかります。ですが、平和について考えるとき、東大和市にある変電所と同じように、1度は訪れてその地で何があったのかを見て学ぶ大切な場所と考えます。東大和市は皆さんも御存じだと思いますが、平和都市宣言をしており、毎年広島で行われる平和記念式典に小中学生を派遣しています。素晴らしい取組だと思います。「歴史を知る」、「自分で考える」、これは今の子ども達にもものすごく大切なことの一つだと思います。



広島 原爆ドーム

「戦争」

3年 大野 爽花さん

私の家の隣には、南公園があります。小さい頃は「何で穴があいているんだろう」や、「何であるのに誰も入れないんだろう」と思っていました。でも、あの変電所は戦争の跡が残るものでした。ここも昔は本当に戦争によって恐ろしい場所だったのが分かりました。

人々の争いにより、赤ちゃんからお年寄りまで沢山の人たちが命を落とされました。小さくても戦わされたり、負傷者の手当てをしたりと、本当に今では考えがたい事が起こっていたのはとても怖いです。

私は前にネットで医療者として戦争を体験した方のインタビューを見ました。周りが火の海の中家族と逃げる話や、重傷を負った方達の話。水をくみに行った仲間が爆弾により、目や手、足、体がなくなって目の前にあった話。聞いているだけで鳥肌が立つ様なこの出来事は、これからも語り継がれていかないといけないことだと思います。今の世界は技術が進化して便利で住みやすいです。でも、沢山の人が犠牲になるような事は絶対に起こしてはいけません。平和で、力で争う事の無い世界になると良いです。

「戦争と平和について」

3年 吉利 光喜くん

町中の人々が逃げ惑い、泣き叫んでいる姿を無くしていきたい。僕は中学生になってから、今までより戦争という言葉と向き合うようになった。今年の僕たちの修学旅行の行き先である広島もその一つ。昨年は「しょうけい館」(九段下にある国立の戦傷病者と、そのご家族等の戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言や、歴史的資料等を保存、展示する施設)等に立ち寄った班もいくつかあるだろう。中学生になり、戦争というものと向き合ってきた事を発表しようと思う。

昨年訪れた「しょうけい館」の2階に戦時中の日本兵のジオラマが有り、そこで音声案内を聞いた。

最初はコーナーに入るのをためらった。それほど生々しいものだったため、みんなで入っていったくらいだ。入ってみるとそこには木のような物をくわえて、他の兵に押さえつけられながら悶絶(もんぜつ)している日本兵の姿があった。麻酔も十分でないため、ケガをして腐った部分を刃物で切り取っていた。ケガの後にはウジがわき、使えなくなった兵士は見殺しにされ、死体の山ができていた。これを実際に経験している人がいるのかというほど、見ていられるような物ではなかった。戦争が何も生まないというのが目に見えて分かった体験だった。政府の上の人々は、捨て駒のように人々を使い捨てるが、戦争は何も生まないし、あれほどの死人が出る国同士のもめ事に、なぜ私たちが関わらなければならないのか。子どもの頃から銃を教えられている子もいる。それはさせてはいけない事であると僕は思う。争い事では何も解決しない。そして、今までも被爆者が沢山残る戦争は起こしてはならない。今までにどんな事があったのか分かりませんが、広島での修学旅行でたくさん学んでいければ良いなと思っている。

※ 現在、修学旅行については、当初予定の9月から、実施の可能性を鑑みて2月に移したところです。他の区市教育委員会では、中止を決定したところや、時期をずらして実施することを決めたところもありますが、本市教育委員会では、生徒の安全を第一に今後判断することとしています。なお、1年生で行う予定でした冬の移動教室（スキー教室）は今年度中止し、次年度に延期いたします。

## 分散から完全再開へ



6/1（月）からの分散登校



屋外での音楽の授業



1個飛ばしの格子状に座ります



コロナ対応の保健室です



6/15（月）から給食スタート



6/22（月）から完全再開です